

緑の担い手

研修3年目を迎えて

北茨城市森林組合
鈴木海渡

私は、茨城県立大子清流高等学校の森林科学科を卒業して、北茨城市森林組合に就職しました。学校の先輩も林業関係に進んでいる人が多く、自分でも在学中に学んだことを活かそうと思いい、就職先を決めました。しかし、知識や技術はまだまだ未熟だったので、就職して間もなく、上司に勧められ、「緑の雇用」研修を受講することになりました。

研修1年目は、林業に関する幅広い知識や安全対策を含めた技術を学びました。2年目の研修では、車両系建設機械や不整地運搬車運転技能講習など業務に必要な資格を数多く取ることができ、さらに、機械の操作やメンテナンスなどを体験することができました。また、集合研修では、他の事業体の研修生と楽しく有

意義に交流することもできました。3年目の今年も、これまでの研修の成果を活かしながら、さらに多くのことを学び、できるだけ周りに迷惑をかけないように努力していきたいと思えます。

職場では、森林経営計画の作成や施業の集約化に取り組むとともに、木材を販売する共販事業を担当していますが、この研修で学んだ知識や、山元の現場作業の経験を活かし、安全で効率的な仕事ができるよう頑張りたいと思えます。

